

70
69
68
67
66
65
64
63
62
61
60
59
58
57
56
55
54
53
52
51
50
49
48
47
46
45
44
43
42
41
40
39
38
37
36
35
34
33
32
31
30
29
28
27
26
25
24
23
22
21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1

関東大震災大番付

乞食日避難民デス

偉勳一等賞無線電信
惜まる、三殿下
ポキッと折れた浅草
グツグツ云々ツギる
本所被服廠跡死者
首がおつ
馬鹿に儲けた上野の
救済支出に決した
効勞の魁軍用飛行機
無事忠才の三越の獅子
新規に出来た金庫あけ業
母校を奮はれて泣く學童十五萬
昔に返つた箱根八里
武士道の権化山内所署長
數丈の地割れ宮城前
殆んど全滅熱海箱根
のりのついで居らぬ切手と印紙
焼灰が飛んで常陸水戸迄
氣持のいゝ暴利取締令
悪い事云ひ當てる大本教

御免
大正十二年九月一日午
前十一時五拾八分二十三秒
震源地北緯
三十五度四

救援第一着米合衆國
殺されやぶつた大杉榮
第一番に焼けた警視廳
氣持のいい非常拂ひ
郵便貯金の非常拂ひ
死者千人餘の吉原公園の池
尋ね人の廣西郷ノ像
告になつた頼み手の力
イモクのない美術家連
震災に依る九十二萬圓
日本の損害地獄まで
被服廠から

泣く子に夫れつ地震
ヒヨッコリ合つた鴈と仁左
朝飯もらふに書までかゝり
殖へたマスクやと繪端書や
根底から破産した化學やはん
側杖くつた伊藤野枝
芭蕉ふんだ大森博士
●●●へ女●●●湯●●●
鮮人に似たのが抑々不運
三越の焼跡を探す男かな
ペロリト東京ナメちまい
此所小便無用町のまん中
御面相はバラツク式たネー
田舎稼ぎに出る藝妓

火保の契約廿三億
震災前の単身住民二百五十萬
其後は概算百廿萬
政府を相手に宗一の母者人
何が當るやらかん婦白蓮
安政地震から今日まで六十八年目
ビクツともせぬ帝國ホテル
焼けた南北二里廿八町
潰れた父の腕を鋸で助けた息子
妙な名前鳴志田甘粕
名古屋へ移り申候回向院
火元實に百卅余ヶ所
恐ろじかつた龍巻
あんまり効力のない金庫

震源地北緯
三十五度四
勸進元
常陸要め石
戒嚴司令部

焼け死んだ花屋敷の象
辻々に居る自轉車パンと直しや
帝大で焼けた書籍七十六萬
急造りの乗り合荷馬車
退かずに火を防いだ住友支店
の課長
五尺下つた横濱の地面
京濱で焼けた電話機三十二萬
不思議に助かつた浅草觀世音
東京の火事が見へた岩代福島
一尺五拾圓に賣れた活動ヒルム
乞食がなくなつた食になり

館ン棒に曲つた鉄道
仰向いてへんを出した丸善書店
焼失戸數四十五萬
大活動をして鐘詰様々
誰か喰つたらしい公園の鴨
屋根迄のせたま避難汽車
四日の朝ツイタ慰問袋
●●●へせしせし長唄の師匠
●●●へせしせし長唄の師匠
焼死人口六萬八千
林女史の廢娼運動
大正の大江戸へ草ン靴がけ
どう寫すの官報教科書
儲けた事は儲けたが懲役二年
自警團長宛然巡查矣

○上野から見へる武藏野原ハヤリ出した枯すすき節

一枚定價金拾錢也焉